

たま校通信 NO. 10

石川支援学校たまかわ校

令和4年3月4日（金）



○令和3年度の学校評価のまとめをお知らせします。

アンケートの御協力ありがとうございました。いただいたご意見を今後の教育活動に生かすことができるように努めていきます。



学校経営・運営ビジョン ～社会に踏み出すための力を～

【学校教育目標】児童生徒一人一人の障がいの状態及び特性に応じ、自立し社会参加ができる人間を育成する。

1 基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、自分で考え判断し、進んで行動する力を育む。

- ①児童生徒一人一人を見守ります
- ②日々の授業の充実に努めます
- ③自立活動の視点を大切にされた教育活動に努めます

2 相手を思いやる心を持ち、自らの思いを伝え、よりよい生活や豊かな人間関係を形成する力を育む。

- ①成長とともに生じる心や体の問題に向き合います
- ②命の大切さを丁寧に伝えます
- ③主体的で対話的な深い学びの実践を校内研修により高めます

3 健やかな心と体を持ち、地域とのつながりを大切にしながら社会を生き抜く力を育む

- ①地域や関係機関との連携を進めます
- ②体験活動の充実に努めます
- ③学校の取り組みを積極的に発信します

1 アンケートの回答状況

評価者	対象者数	回答数	割合
教職員	43	43	100.0%
保護者	小学部保護者 41（兄弟世帯2）	41	100.0%
	中学部保護者 21（兄弟世帯2）	21	100.0%
中学部通常学級の生徒	12	12	100.0%

2 アンケートの結果

保護者、教職員アンケート結果では、ともに全体的に高い評価を得ているものが多く、A・B評価を合わせた割合は、保護者・教職員アンケートともに95%以上を占めていました。

アンケート結果から、保護者、教職員ともに今年度の学校経営・運営ビジョンで掲げた、3つの柱における重点事項に対する取り組みを高く評価していることが伺えます。しかし、いくつかの項目にはC評価・D評価が含まれており、今年一年の取り組みに対する意見としてしっかりと受け止め、一人一人の児童生徒に応じたかかわりができるように一層努力し、保護者の皆さんとの丁寧なやり取りを常に心掛けることを全教職員で確認していく必要があると強く感じています。

昨年度に引き続き、今年度も厳しい状況の中で学習活動を進めることとなりましたが、概ね全体としての目標は達成されたのではないかと考えています。

保護者アンケート結果

アンケート項目	評価基準	A	B	C	D	E
① 教育目標、教育・経営方針の説明		40	21	1	0	0
② 学校へ楽しく通っている		46	14	1	0	1
③ 子供の実態把握、一人一人に応じた指導		46	14	1	1	0
④ 子供たちを尊重したかかわり、責任ある指導		50	11	1	0	0
⑤ 学校行事の時期、内容		43	19	0	0	0
⑥ 適切な健康管理と保健指導		54	8	0	0	0
⑦ 適切な安全に対する配慮、対応		49	13	0	0	0
⑧ 保護者の相談の対応、解決への取組		48	14	0	0	0
⑨ 保護者との共通理解、意見の反映		52	8	1	0	0
⑩ 授業参観や個別懇談、PTA活動の時期等		32	29	0	0	1
⑪ 家庭、関係機関、地域との連携		36	26	0	0	0
⑫ 適切な進路相談、進路情報の提供		38	22	1	0	1
⑬ 地域との連携、交流活動、体験活動の取り組み		35	26	1	0	0
⑭ 広報誌、ホームページでの発信		40	20	1	0	1

<注：評価基準>A(そう思う)、B(おおむねそう思う)、C(あまりそう思わない)、D(そう思わない)、E(分からない)

評価が高かった項目：A評価が75%超で、C・D評価が0%の項目。（「最も良い」の評価）	
保護者	「適切な健康管理、保健指導」「適切な安全に対する配慮、対応」「保護者の相談の対応、解決への取組」
教職員	なし

評価が高いが課題も見られる項目：A・B評価が75%超だが、C・D評価があった項目。（「概ね良い」の評価）	
保護者	「教育目標、教育・経営方針の説明」 「学校へ楽しく通っている」 「子供の実態把握、一人一人に応じた指導」 「子供たちを尊重したかわり、責任ある指導」 「学校行事の時期、内容」 「保護者との共通理解、意見の反映」 「授業参観や個別懇談、PTA活動の時期等」 「家庭、関係機関、地域との連携」 「適切な進路指導、進路情報の提供」 「地域との連携、交流活動、体験活動の取組」 「広報誌、ホームページでの発信」
教職員	「内外面に目を向け人と関わる力を育てる指導」 「子供の実態把握、一人一人に応じた指導」 「資質・能力を明確にした授業と評価」 「ルールやマナーを意識した授業展開」 「自立活動の内容を踏まえた授業の充実」 「一人一人のニーズに対応した進路指導」 「いじめ防止の手立てや支援」 「性に関する計画的・系統的指導」 「防災教育と危機管理」「栄養士と協働した食育」 「安全な登下校」「外部専門家の協力を得た授業の充実」 「地域小中校との交流と体験活動の充実」 「地域の社会資源の活用と連携した授業実践」 「共に学び合う環境づくり」 「広報誌、ホームページでの発信」 「教育相談と相談体制の構築」 「地域のニーズを踏まえた相談・研修支援」 「教育目標、経営目標の説明」 「授業参観や個別懇談、PTA活動の時期等」

【自由記述から】

- 保護者の皆様からは、コロナ禍で見えにくい状況の学校生活に対する不安や、学校の対応に対しての感謝や期待・要望などが多くありました。教職員にとって大いに励みとなるとともに、保護者の皆様の思いをしっかりと受け止め、児童生徒が安心して過ごすことができるような学校作りに努めていきます。
- 教職員からは、教室環境や通学関係、学習形態などについての意見が挙げられていました。いずれも、より良い実践につなげるためのものであり、全教職員で共有しながら検討し、より良い実践につなげることができるよう努めていきます。

3 生徒アンケートの結果

＜評価項目＞

- ①学校は楽しい。②わかりやすく勉強を教えてくれる。③先生はよく話を聞いてくれる。④仲のよい友達がいる。

中学部生徒12名に実施しました。全員が「学校は楽しい。」と回答しており、自由記述欄にも「悩みを抱えている」という回答はありませんでした。日頃より、生徒同士のやり取りの場面も多く見られ、生き生きと学校生活を送っているように感じています。

今後も一人一人の言動をしっかりと受け止め、必要な支援ができるように、全教職員が連携して対応するよう努めます。

4 学校評価のまとめ

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症予防対策のために、予定されていた行事や学習活動の多くが、制限された中での実施となったり中止となったりしたことはとても残念でした。アンケート結果の分析を通して、評価に影響した部分も多くあったと感じています。

本年度いただいたアンケート結果を通して、客観的に分析した結果、得られた成果や課題は、次年度に向けた改善策として引き継ぎ、児童生徒一人一人の「社会に踏み出すための力」を目指した学校経営・運営ビジョンを達成することができるよう、今後も各部・各学部を中心に全教職員で検討を重ね、保護者の皆様や関係機関との連携を図りながら実践を進めていくことができるように努めます。